

2021年度 厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助金制度

厚岸町で採集された 多足類およびザトウムシ類



帯広畜産大学昆虫学研究室
開澤菜月・山内健生

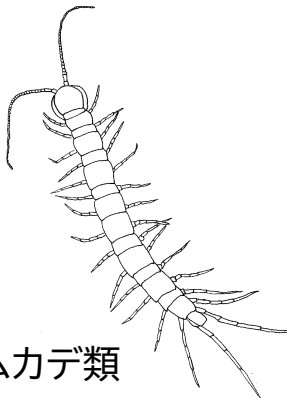
多足類・ザトウムシ類とは？

地表や地中で生活する土壤動物

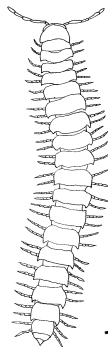
多足類

- ・足がたくさんある
- ・ムカデ類・ヤスデ類・コムカデ類・エダヒゲムシ類の4つのグループに分類される
- ・日本から約500種が知られている
(田辺 2001)

厚岸町からの**多足類**の記録は
今までなかった



ムカデ類



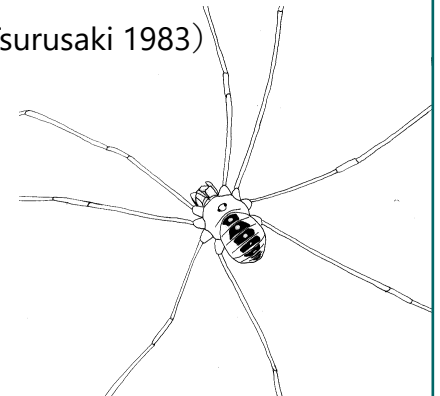
ヤスデ類

ザトウムシ類

- ・ずん胴のまめ粒のような体に長い8本の足をもつ
- ・クモの仲間であるが、普通のクモ(真正クモ目)との類縁は遠い
- ・日本から約80種が知られている
(鶴崎・鈴木 2015)

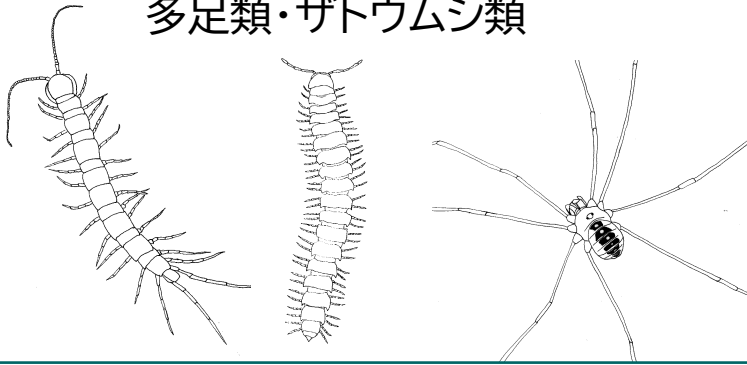
厚岸町から**ザトウムシ類**は
5種知られていた

(Suzuki and Tsurusaki 1983)



研究内容

多足類・ザトウムシ類



移動分散能力が低い

→**地理的種分化、または種内の地理的分化**
が知られている

(例えば田辺 2001; 鶴崎 2020など)

これまでほとんど調査されていなかった厚岸町の
多足類・ザトウムシ類のファウナの解明は
生物地理学的に重要な知見になると考えられる

厚岸町において4カ所の調査地を選定し、
多足類・ザトウムシ類のファウナ調査を行った

材料と方法

調査時期：2021年6月、10月

調査地点（4地点）



①トライベツ川付近



②水鳥観察館周辺の
大別川左岸



③愛冠自然史博物館付近



④原生花園あやめヶ原
駐車場付近

材料と方法

採集方法

- ・見つけ取り法
- ・ツルグレン法（土壌を採取し、ツルグレン装置で抽出）
- ・ピットフォールトラップ
（2021年6月12日～14日に
水鳥観察館周辺の大別川左岸で実施）



ツルグレン装置(自作)



ピットフォールトラップ
設置



捕獲された多足類とザトウムシ類

結果(多足類)

ムカデ類9種、ヤスデ類6種、コムカデ類2種を採集した
(種名未決定種を含む)

ムカデ類



ヤスデ類

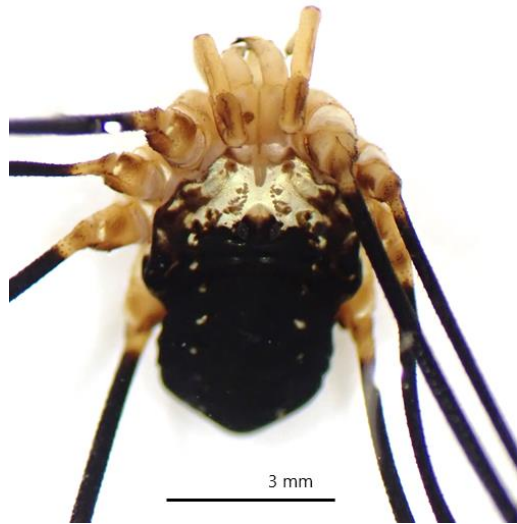


コムカデ類



結果(ザトウムシ類)

ザトウムシ類5種を採集した
(種名未決定種を含む)



まとめ

- ・今回見つかった多足類のすべてが厚岸町初記録であった
(ムカデ類9種、ヤスデ類6種、コムカデ類2種、種名未決定の種を含む)
- ・厚岸町初記録となる、ザトウムシが2種採集された
(マザトウムシ、ブラシザトウムシ属の1種)

今後の課題

- ・種名未決定種においては、分類学的検討を進めていく予定
- ・今後、別の調査地点や異なる時期に調査をすると、
より精度の高い多足類・ザトウムシ類のファウナ解明につながると考えられる